

第37回岩手育種談話会

第37回岩手育種談話会を下記の要領で開催致します。今回の談話会はエジプトミニア大学の講師で、岩手大学に客員研究員として来日されているハイサム ザキ 氏と農研機構東北農業研究センターの由比 進 氏に下記のテーマで話題提供していただくことにしました。皆様ふるって御参加をお願い申し上げます。また学生の参加を歓迎します。本談話会は岩手農林研究協議会（AFR）との共催で開催されます。

1. Haitham Zaki 氏（エジプト ミニア大学/岩手大学客員研究員）
「Can we alleviate the harmful effect of salinity?」(English)

2. 由比 進 氏（農研機構東北農業研究センター）
「(たぶん) 世界一」まで、あと少し 長日要求性素材による *Brassica rapa* L. (ハクサイ等) の極晩抽性品種開発」(日本語)

日 時：2014年5月23日(金) 15:30~17:30

場 所：岩手大学農学部4番講義室（農学部南講義等1階）

内容1：Plants are subject to numerous abiotic stresses from their environment. Salinity stress is among the most serious and widespread of agricultural problems and this is likely to continue into the future and become more problematic. The development of crops with increased salt tolerance is important to facilitate the use of saline water for irrigation and crop production.

内容2：ハクサイ、カブ、コマツナ、チンゲンサイなどが属する *Brassica rapa* の抽だいは、主に低温要求性に支配されている。これとは異なる長日要求性に支配される「つげな中間母本農2号」を利用した共同研究（サカタのタネ、岩手大学、岩手農研、東北農研）によって、近々これまでにない極晩抽性ハクサイ品種が育成され、その極晩抽性の分子メカニズムも明らかになる見通しが立ってきた。

講演終了後に、講師の先生を囲んでの情報交換会を会費1500円（学生500円）で行います。情報交換会にご参加の方は準備の都合上、以下の連絡先に5月22日(木)までにご連絡下さい。こちらの方も是非ご参加下さるようお願いいたします。

連絡先：岩手大学農学部 横井修司・高畑義人(019-621-6152, 6151)
e-mail; shyokoi@iwate-u.ac.jp, ytakahata@iwate-u.ac.jp